



国産純粋種豚改良協議会だより

第 0 号 2017. 10. 2 発行

平成29年度 国産純粋種豚改良協議会

総会及び意見交換会 開催!!

(平成 29 年 8 月 8 日 東京都渋谷区婦選会館 多目的ホール)

平成 29 年 8 月 8 日、国産純粋種豚改良協議会の平成 29 年度総会が、東京都渋谷区の婦選会館多目的ホールにて開催されました。全会員 28 名のうち出席者は 14 名、委任状出席者は 14 名で開催が成立、最初に本協議会星会長からの挨拶のあと、オブザーバーである農林水産省の関村畜産技術室長からもお祝いの挨拶をいただきました。(なお、オブザーバー会員は 7 名出席。また今回傍聴ということで山形県農業総合研究センター養豚試験場と千葉県畜産総合研究センター 2 名の出席がありました。山形県農業総合研究センターについては平成 29 年度より本会員加入の御連絡をいただいております!!)

全議案承認となり、最後に本協議会副会長である独立行政法人家畜改良センター藁田理事より閉会の挨拶をいただき無事終了となりました。

総会終了後、協議会活動についての意見交換会が行われました。本協議会ワーキンググループ及び事務局からの今後の活動についての提案事項等の発表のほか、それに対する今後の協議会活動方針についての参加者からの意見要望が出されました。また、日本の生産者が求める日本型種豚を海外に負けずに作出していくため、オールジャパンで改良のスピードアップを図ることを強く求める声が上がりました。

その後開催された懇親会にも多くの総会出席者に参加していただきました。歓談のなかで、この協議会を通して改めて、国内の種豚生産者が気持ちをひとつにして頑張っていこう!!という強い決意が再確認できたと思います。日本には『黙り虫、壁を破る』ということわざがあります。鳴きもせず誰も注目しないような小さな虫が、いつの間にか壁にあけてしまう、つまり黙ってこつこつと努力する者は人の知らないうちに大事を成し遂げる、ということです。第一回総会が日本の婦人参政権を勝ち取った市川房枝の記念会館であることも何か、これからが勝負なのだと改めて感じました。協議会が一丸となり、養豚業界から素晴らしいといわれるような種豚改良を目指し前進していくことを事務局としても後押ししてまいります!!



お祝いの挨拶を頂いた農林水産省 関村
畜産技術室長と星会長



協議会の今後の方向性について述べる
桑原監事と参加者の様子



総会締めのおいさつを頂いた副会長
である、独立行政法人 家畜改良セン
ター藁田理事

国産純粋種豚改良協議会の現在の会員数は、生産者会員が 23 名、団体及び試験研究機関会員が当協会含め 6 名(祝☆山形県養豚農業総合研究センター養豚試験場様 加入)です。
オブザーバー会員は 16 名となっております。正会員への変更手続き、お待ちしております!!



事務局からのお知らせ

「国産純粋種豚改良協議会」は
平成 28 年 3 月 31 日、オールジャパンでの種豚
改良を目指して発足しました。
只今、会員絶賛募集中です!!

★第二回 東京食肉市場豚枝肉共励会で 17,996 円/kg 落札!!

平成 29 年 8 月 25 日、東京食肉市場 株式会社にて開催された第二回 東京食肉市場豚枝肉共励会にてなんと、17,996 円/kg 落札の枝肉が出ました。(77.5kg 枝肉価格 1,394,690 円)和牛でもめったに出ない高価格ですが、実はこの枝肉の種豚、止め雄ともに本協議会会員の生産する種豚でした。非常に喜ばしいことです!!

★第二回 同一基準遺伝的能力評価

現在、会員の皆様より御提出頂いた繁殖形質・産肉形質データをもとに第二回の評価結果を出すべく独立行政法人 家畜改良センター、国立研究法人 農業・食品技術産業技術総合研究機構、国立大学法人 東北大学大学院の御指導と多大なるご協力のもと取り組んでおります。結果公表までしばらくお待ちくださいませ。

★国産純粋種豚改良協議会 呼称案募集中

国産純粋種豚改良協議会の活動が世界から注目される日も遠くありません!!そのための英称や英称に基づく呼称をつけたいと思います。只今、会員及びオブザーバーの皆様からの案を大募集中です。協議会がますます元気になるようなネーミングをお待ちしています。(応募先は事務局まで。)

早速、ひとつ案をいただいておりますのでご紹介します。

Japan Excellent Pig Association 略して JEPA

話題であり取り組み課題ともなりうる EPA の先頭に Japan の J。力がみなぎる呼称ですね!!

★平成 29 年度 種豚導入補助事業 ご案内

事務局である一般社団法人 日本養豚協会では平成 29 年度、2 本の種豚導入補助事業の事業実施主体をやっております。国産純粋種豚の能力底上げが根底の目標になった 2 本の事業ですが、要件などがそれぞれ違います。すでに会員及びオブザーバーの方で事業参加されて、積極的に改良のための導入を行っている方もおられます。せっかくの補助事業です。協議会の目標達成の為に是非、有効活用しましょう。(お問い合わせは事務局の湯浅まで。)

★協議会内部での種豚交流について

改良のスピードアップのための、ひとつの指標となる遺伝的能力評価精度を向上を図るためには、協議会員間での血縁構築が重要となってきます。是非、会員間で種豚交流を実施しましょう。昨年度は独立行政法人家畜改良センターより、アイルランドから輸入してきた雄の精液配布がありました。御連絡いただければ会員にお知らせいたしますので事務局までお願いします。

★会員、絶賛募集中!!

より多くの種豚生産者に参加していただくことで、国産純粋種豚改良協議会の活動が盛り上がり、かつ、データがたくさん集まり、改良のスピードアップも狙えます。是非、入会をよろしくお願いいたします。協議会についてのお問い合わせもお待ちしております。

★産肉検定について

産肉形質改良のための素材となるデータ測定についても、積極的に実施をお願いしたいところですが測定機器が無いなどのお悩みについて、協議会一丸となって取り組んで行きたいと思います。是非、事務局へお問い合わせ下さい。全体で対策を検討したいと思います。

★国産純粋種豚改良協議会だより について

今回は試験号ということで事務局にて作成をさせていただきました。以降、定期的に発行して行きたいと思います。普段なかなか集まることのできない、会員及びオブザーバーの交流の場としても是非ご活用ください。掲載希望記事や掲載希望コーナーなどの御提案をお待ちしています。事務局までどんどんお寄せ下さい。
(例:会員及びオブザーバーの紹介コーナー、会員及びオブザーバーに関するトピックコーナーなど)

国産純粋種豚改良協議会 事務局 一般社団法人 日本養豚協会 担当:小磯・湯浅・海老原・神長
〒1510053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2 階
電話:03-3370-5473 FAX:03-3370-7937 E-Mail:n.yuasa@pig-pins.com